



はなのき

神坂小学校だより No.12 2024.2.21



一年間の学びや成長を工夫して伝えた子供たち

校長 伊藤 博章

いよいよ令和5年度を締めくくるまとめの時期になってきました。神坂小学校では、1月末から2月初旬にかけて、「総合的な学習発表会」「生活科発表会」を行いました。これは、年間を通して取り組んできたことや学んできたことを引き継ぐ学習です。そのテーマは次の通りです。

- 1年生：1年生でできるようになったこと
- 2年生：町探検の発表
- 3年生：ホタル学習のまとめ
- 4年生：総合のまとめ発表～森林・三味線・福祉～
- 5年生：「米作り」を伝えよう
- 6年生：6年生の総合の学習を発表しよう



自分たちの学びの足跡を次学年に伝えるために、プレゼンテーション画面や原稿を準備し、伝える練習をたくさんしました。その発表を聞いた次学年の子供たちは、「来年度が楽しみ」と期待を膨らませるとともに、発表の仕方のいいところの真似をして、自分たちの発表をよりよいものにしました。発表を終えた子供たちは「緊張した～」と言いながらも、その表情からは、やりきった満足感が伝わってきました。

今年度最後の授業参観では、保護者の方々に向けて、同じ内容のものを発表しました。伝える対象が保護者の方々ということもあり、さらによい発表にしようとは何度も練習しながら、感謝の思いが伝わるように工夫できていました。当日の子供たちは緊張感でいっぱいだった様子でしたが、原稿はできるだけ見ないで、相手を見ながら話す姿をたくさん見ることができました。発表内容も、学んだことの報告事項だけでなく、クイズを入れることで、教室内の全員が参加できるような楽しい工夫もされていました。印象的だったのは、低学年の子たちも原稿なしで、大きな声で堂々と話せていたことでした。現地へ行って体験したからこそ、また地域の方から話を直接聞いたからこそ、子供たちの中に印象が強く残っていて、自分の言葉で話せるのだからと感じました。改めてこの時期の体験学習の大切さを痛感しました。



堂々と大きな声で相手の顔を見て発表できる姿は、これまでの積み重ねの成果です。今年度、神坂小学校では「伝え合う」ことのできる力を高めるために、毎日の生活や授業、行事の中で取り組みを進めてきました。年度末の授業参観で、その集大成ともいえる姿をたくさん見ることができて、とてもうれしく思いました。

